

GB-11 化学でつながる未来をつくる

たとえば、みなさんが学校で習う理科で世界が変えられるとしたらどう思いますか？「そんな！まさか！？」と思う人がほとんどのはずです。もちろん、どんなに頭がよくて、えらい先生でも一人じゃたいへんですよね。だから「みんなでいっしょにがんばる」ことが大切です。

みんながいっしょにがんばることがいいとしても、「がんばろうよ！」と呼びかける人がいなければダメですよね。わたしたち日本化学会はたくさんの人たちに呼びかけて皆さんの住まいから世界までを豊かにするためのいろいろなことをしています。

ところで、理科を学ぶことはおもしろいですか？皆さんにとって理科とは何でしょうか？じつは、理科は自然を知ることと同じで、皆さんのまわりにある水・空気・木・森・山・火・お月さまやお日さまなど、ふだんの「あたりまえのこと」を知ることなのです。「火を近づけるとポッと燃える」とか「寒い日には水がガチッと凍る」ことは皆さんにとってあたりまえのことですが、これも自然がおこすことなのです。こうした自然のふるまいのいくつかを私達は「化学」と呼んで、日本や世界の学者さんたちと毎日いろいろな話をしているのです。もちろん、そのなかにはたいへんむずかしい問題もありますが、みんなで協力しなければ何もはじまりません。なんてたって、世界を変えるのですから。

みなさんが今、理科で、自然で感動することが未来を変え、世界の人たちを豊かにさせます。日本化学会はそのお手伝いをして、国や世界に「化学って大切だよ」と呼びかけていくのです。

いまからだって大丈夫。みなさんも私達と一緒になってがんばって、世界をかえてしまおうじゃありませんか。日本化学会はみなさんの参加と協力をお待ちしています。



かがく せかい
化学で世界をアツといわせ
た「ノーベル賞」の学者さん
たちも日本化学会に
協力してくれています。



かがくてん でまえじゅぎょう
化学展や出前授業で、
みんなと化学を楽しみます。

企画部、高橋 学（社団法人日本化学会）